

学力向上プラン〔音楽〕科

研究主題	「基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化」
副主題	～特別な教育的な視点をもった支援の工夫～

仮説	各教科を中心に、通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒を念頭におきながら支援することで、学習活動への意欲が高まり、基礎学力が定着するであろう。
----	--

教科研究のUD化テーマ	どの生徒に対しても、思いを言葉で表し、それを発表し、お互いに共感させ、音楽表現において学び合う楽しさを実感できる授業	
教化における方向性	教科で目指す子どもの姿 ○自分の考えに根拠をもって表現できる姿。(書く・話す・聞く) ○仲間の意見を認めて受け止め、お互いの考えを深める姿。(話す・聞く) ○言葉を手がかりに、思いや情景を表現する姿。(歌う・演奏する)	
	焦点化 ・めあての明確化。 ・取り組むべき活動をはっきりさせる。	視覚化 ・つきたい力と授業の流れを明示し1単位時間の流れをつかませる。 ・映像や関連資料等で、めあてに近づく説明を端的に行う。
	共有化 ・各自が発表した内容について、「似ている意見、違う意見」を述べて、思考を深めさせ、課題を共有できる場の設定を工夫する。 ・書いた思いを発表することで、お互いの考えを共有し、文章と言葉で表現する。 ・ふり返りで「つきたい力」について確認する。	個別の配慮等 ・スモールステップを心がけ、課題に対して、何に困っているのかを一つ一つ指導していく。 ・「書き方の例」をミニボードに提示し、書くときに迷わないようにする。 ・プリントの書く欄を少なくする。
個人研究の方向性	個人研究テーマ ○視覚教材での導入 ○表現の仕方、書き方の提示 ○簡潔な意見の発表とそれを生かした表現	
	基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化のための工夫 ○活動内容の順番や目的の明確化 ○わかりやすい指示や例として文章の提示 ○情景や感想を書くときの言葉の選択肢の指示	

